

I 目的

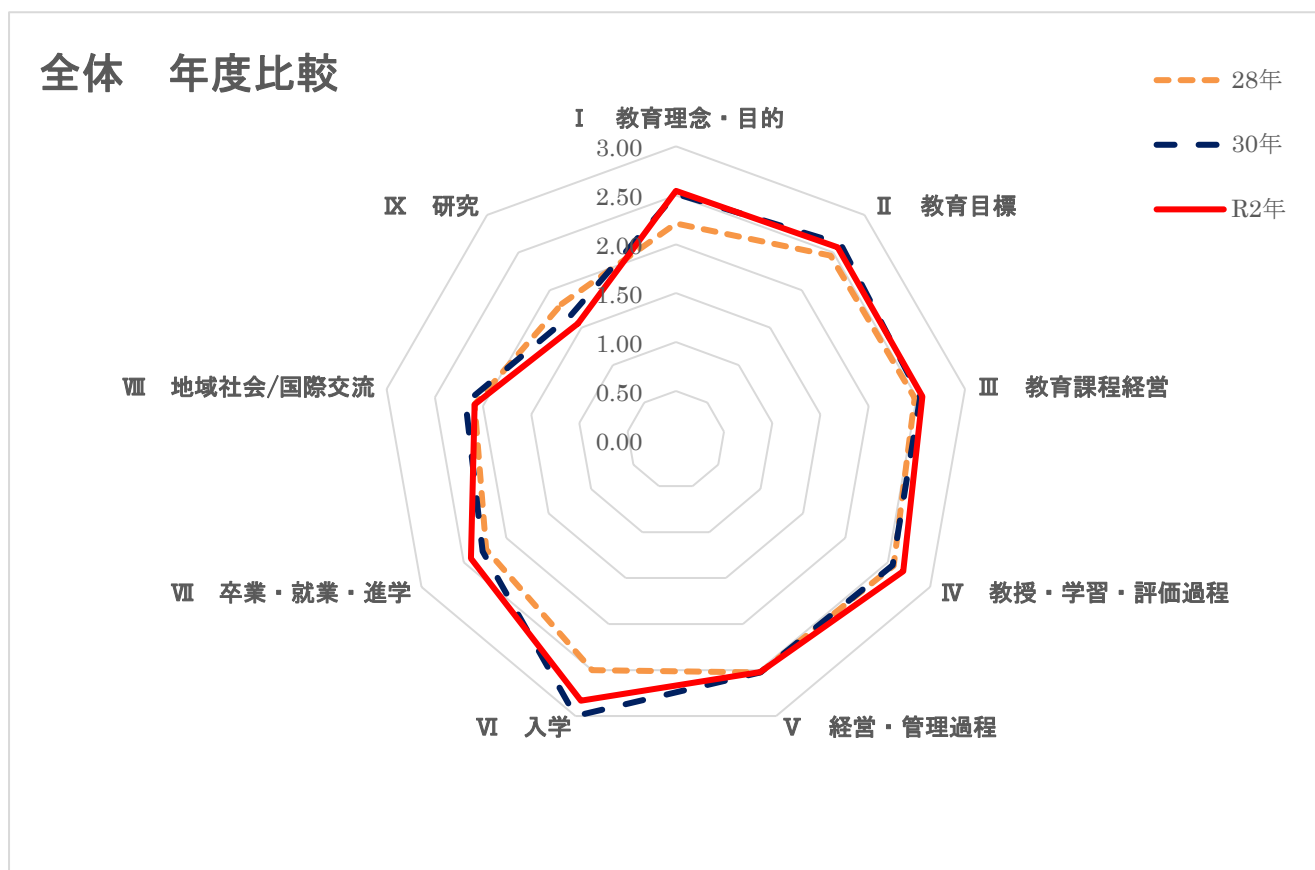
深川市立高等看護学院の教育理念・目的・目標に照らし、当学院の活動状況を把握するとともに、自らの教育活動を評価し、教育水準の維持、向上及び創意工夫のある教育の追及を図る。

II 自己点検自己評価方法

- 1 評価対象：専任教員 9 名
- 2 調査時期：令和 2 年 8 月
- 3 調査内容：厚生労働省の指針である「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」に基づく評価（カテゴリー9 領域、125 項目）を用いて実施。
- 4 結果分析：3 段階の評価基準とし、「3 当てはまる」3 点、「2 やや当てはまらない」2 点、「1 当てはまらない」1 点とし、9 領域カテゴリーの平均点を算出。
過去 3 年間の結果を比較し分析を行う。

III 結果

1) カテゴリー別平均点



	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX
	教育理 念・目的	教育目標	教育課程 経営	教授・学 習・評価 過程	経営・管 理過程	入学	卒業・就 業・進学	地域社会 /国際交 流	研究
H 28 年	2.21	2.46	2.48	2.57	2.53	2.50	2.24	2.09	1.81
H 30 年	2.52	2.62	2.54	2.56	2.53	3.00	2.28	2.18	1.67
R 2 年	2.55	2.57	2.56	2.68	2.52	2.83	2.42	2.09	1.56

< I 教育理念・目的 > < II 教育目標 > < IV 教授・学習・評価過程 > < VII 卒業・就業・進学 > は改善され、0.2～1.4 上昇している。

特に、< VII 卒業・就業・進学 > の中では、毎年、年度末に「看護師教育の技術項目と卒業時の到達度」「看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標」の調査が定着し、分析できていると評価できる。< II 教育目標 > については、自己点検・自己評価を行う時期と同時期に教育目標を見直し、現在の社会背景や求められる看護師像について検討を重ねていたため改善点が明らかになったことが伺える。

< VIII 地域社会/国際交流 > < IX 研究 > は依然として低評価であり、改善が必要である。

2) 9 領域別の結果 別紙 1

VI 課題への今後の取り組み

1. 新カリキュラム編成を検討し、効果的な企画・運営を図り、学修環境、教育の質の向上に取り組む。
 - 1) カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）を明示し一貫性、整合性を策定する。
 - 2) 地域に根ざした教育活動を目指す。
 - 3) 現行カリキュラム評価、新カリキュラム編成は全員の共通理解、認識で検討する。
2. 各組織やその構成員の意見や考え方を十分に反映し、決定事項を周知していけるようなシステムをつくる。
3. 本校を目指す受験生の確保に向けて広報活動に取り組む。
4. 卒業生及び就業先と連携を図り、卒業後の活動状況の調査を実施し、カリキュラム編成への反映に取り組む。
5. 教員の資質の向上に向け、日々の教育活動について情報交換し検討し合う機会を計画的に設定するとともに、業務調整を行い研究活動に取り組む。